

こどもクリニックニュース

NO. 156 平成25年2月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2013年3月まで)

2月	13日	(水)	2才健診	保健センター
3月	1日	(金)	3ヶ月健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

3月末まで、臨時の休診の予定はありません。

4月27日(土)は休診といたします。

水曜日は一日休診です。



小児科休日診療の予定

加須市では、11月から翌年3月まで、元日を除く日曜・祝日に小児科休日診療が実施されています。3月10日までの当番は以下のとおりです。

平成25年2月

日にち	曜日	当番医
3日	(日)	福島小児科医院
10日	(日)	つのだ小児科医院
11日	(月)	ともながこどもC
17日	(日)	福島小児科医院
24日	(日)	加藤こどもC

平成25年3月

	曜日	当番医
3日	(日)	つのだ小児科医院
10日	(日)	ともながこどもC

診療(受付)は9:00~12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、

最新情報をご確認ください。

そろそろ、花粉症対策を!

最近の予報では、関東平野で本格的にスギ花粉が飛び始めるのは2月中旬とのことです。ただし、暖かい日が続いたら、いつ飛んでも不思議ではありません。症状が出る前から治療を始めたほうが軽く済む、と言われていいます。今年は大量のスギ花粉が飛ぶはずですので、花粉症の方は急いで治療を始めましょう。

花粉対策の基本、それは

「家の中でも外でも、花粉を眼や鼻に入れないこと」

- ① 晴れて風がある日は花粉がたくさん飛んでいるので、可能な限り外出は控える。
- ② どうしても外出が必要な時は、マスクを着用する。眼の症状が出る人は「ゴーグル」を使う。

家の中に花粉を持ち込まないことも大切です。

- ③ 外出する時の上着は、花粉の付きにくい、サラリとした生地のものを選ぶ。
- ④ 帰宅して家に入る前に、服や髪をよく払う。
- ⑤ 花粉が飛びやすい日は、窓を開けない、また布団や洗濯物は外に干さない。

スギ花粉は2月から3月、ヒノキの花粉は4月が一番多く飛散する時期です。5月の連休が終われば、関東平野の花粉の量は少なくなります。



感染症の情報

インフルエンザの患者さんが急速に増えてきました。いつもの年なら冬休みの後、少し下火になるのですが、今年は年末から「右肩上がり」で増えてきました。1月から2月初めにかけて、流行のピークとなりそうです。現在、全国的に流行しているのは「A・香港型」ですが、これからもう一つのA型（新型インフルエンザと呼ばれていた型）やB型が流行する可能性があります。今シーズン一度かかったからといって、決して油断しないで下さいね。

胃腸炎（嘔吐・下痢）の患者さんは少なくなってきましたが、まだ見られます。それ以外の感染症はあまり目立ちません。

手洗いは、すべての感染症の予防にとっても有効です。また感染症、とりわけインフルエンザを周囲の方につさないよう、咳や鼻水、熱のある方はマスクの着用をお願いします。

インフルエンザの出席停止期間

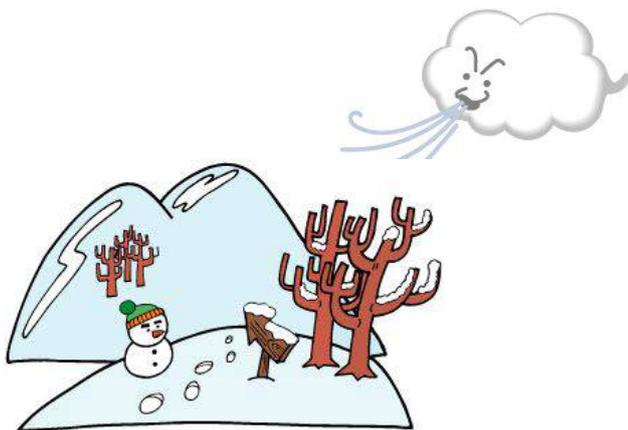
多くの方がご存知のようですが、今シーズンからインフルエンザにかかった時の出席停止期間の基準が変わりました。

発病後（最初の症状が出てから）5日以上経過し、さらに熱が下がって48時間（2日間）過ぎていたら登校して良い、というのが新しい基準です。

「5日以上」の計算の仕方は・・・

たとえば「水曜日」に熱などのインフルエンザ症状が出始めたなら「木・金・土・日・月」の5日間は出席停止で、登校できるのは早くても火曜日以降となります。もしも日曜日まで熱が続いていたなら、登校できるのは48時間以上過ぎた水曜日となります。

なお、幼稚園や保育園の登園許可基準は「発病後5日以上、解熱後3日」です。解熱後の日数に、違いがありますのでご注意ください。



ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン 定期接種化

この三種類のワクチンは、およそ2年前から無料で接種できるようになっていますが、制度上はまだ「任意接種」です。厚生労働省は、来年度から予防接種法にもとづく定期接種とするために、法律改正の準備中とのことです。おそらく実現するでしょうから、日本の予防接種行政の一步前進という事になります。

今後の接種を受けるにあたり、皆様にとっては大きな違いはありません。加須市をはじめ、多くの市町村では引き続き無料で接種できるでしょう。定期接種になれば、予診票（問診票）はいずれ各市町村から配布されることとなります。また埼玉県の前接種相互乗り入れ制度に仲間入りできますので、県内の（かかりつけ）医療機関での接種が可能になるものと思われます。

四種混合ワクチンの現状

ワクチンの販売量が「ギリギリ」の状態は、今も続いています。著しく不足しているわけではありません。当院の実績を振り返って計算してみると、1カ月単位の供給量は、希望者の人数分よりも1割弱足りないくらいといったところです。2回の接種が終わった方に、3回目の接種を少し延ばしてもらうという「やり繰り」をしながら、できるだけ生後3ヶ月台での接種開始を目指しており、遅れた方でも生後4ヶ月台には接種できています。何ヶ月もお待ちいただくことはありませんので、ご安心ください。

ただしワクチンが我々の手元に届けられる日にちと量は、1週間くらい前まで分かりません。そのため1ヶ月先の接種計画を立てることができない状況は変わりません。引き続き、ご希望の方は「お申し込み」いただいき、ワクチンが届いてから接種日をご相談させていただきます。

今後ワクチンの製造量も増えていくはずですから、数ヶ月先には皆様のご希望（計画）どおりに接種できるだろうと考えています。

「三種混合＋不活化ポリオワクチン」を使った接種も認められています。「早く、確実に、計画通りに」接種したいという方は、こちらをご検討ください。

こどもクリニックニュースの
無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150